

車いすでも図書取りやすく

3月から支援システム試行 西日本初

◎システム利用の流れ図

市立中央図書館は、3月4日午前9時30分から車いす利用者が手の届かない場所の図書を取るなどのサポートを受けやすくするシステム「アンサーユー」を試行導入する。専用のスマホ型端末を館内の書架などにあるQRコードにかざすと担当職員が駆け付ける仕組み。街中で困っている車いすの方の様子を見た MOG コンサルタント(株) (本社：岸和田市) の森石勇人氏 (福島支店 取締役支店長) が開発したもので、福島県郡山市での試行導入に次いで全国で2例目。枚方市の担当者は「障害の有無にかかわらず、誰もが安心して本を楽しめる図書館にしていきたい」と話している。

★車いす利用者支援システム「アンサーユー」は、MOG コンサルタント(株)が開発したもので、専用のスマホ型端末をQRコードにかざすだけの簡単操作が特徴の一つ。通知を受けた職員は、利用者の居場所をすぐに特定できるため、サポートに駆け付けることができる。



図書館に限らず、大きなお店や各種施設で有効な活用が期待できる。なお、同システムは平成30年10月、福島県郡山市図書館で初めて試行導入されたもの。

★同システムを知った担当職員が開発元の同社に問い合わせをしたところ、取締役支店長の森石勇人さんが枚方市在住ということもあり、「枚方のためになれば」と快諾。今年3月からの試行導入が決定した。

★今回試行導入される端末は中央図書館3階の新聞・雑誌等のフロアと同館4階の一般図書のフロアにそれぞれ1台ずつ。専用端末は各フロアの受付で貸出が可能。

★3月4日午前9時30分から正午まで、随時、開発者によるシステムや利用方法等の説明を実施。希望者は、2月28日(木)までに下記の問い合わせ先まで連絡を。

<お問い合わせ>

中央図書館 ☎ : 050-7105-8141 FAX : 072-851-0962

◆システム利用の流れ図



①車イス利用者が希望する図書を選定。



②書架の高所にある図書を一人では手にとることができない。



③書架にアンサーユー専用のQRコードが設置されている。



④中央図書館で配布された端末で書架のQRコードをスキャンする。



⑤利用者は専用端末をかざすだけで特別な操作は不要です。



⑥利用者がQRコードを読み取ると係員の端末に連絡が入ります。



⑦係員は、端末で利用者の位置を知ることができます。



⑧係員は連絡のあった場所に行き、利用者のニーズに対応します。



⑨本システムにより、利用者はストレスなく図書を入手できます。